

第1章 計画策定の基本的事項

1 計画策定の趣旨

平成 17 年 6 月に食育を国民運動として取り組む食育基本法が制定され、同年 7 月に施行されました。

現在、食を取り巻く社会環境が大きく変化しており、食に関する価値観やライフスタイルの多様化が進んでいます。そのような中で、「食」に対する感謝の気持ちや「食」を通じた人と人とのつながりも希薄になり、健全な食生活が失われることによる健康問題も挙がっています。

宇和島市においても、平成 21 年 3 月に「宇和島市食育プラン」、平成 25 年 3 月に宇和島市食育プラン〔第 2 次〕を策定し、市民に周知するとともに、関係機関や団体等と行政が相互に連携しながら様々な取組を通じて食育を推進してきました。

今回、第 2 次計画の期間が満了することから、国や県の第 3 次食育推進計画を参考とし、宇和島市食育プラン〔第 2 次〕の成果と食をめぐる新たな課題を分析整理し、生涯を通じた食育活動を総合的かつ計画的に推進することとします。

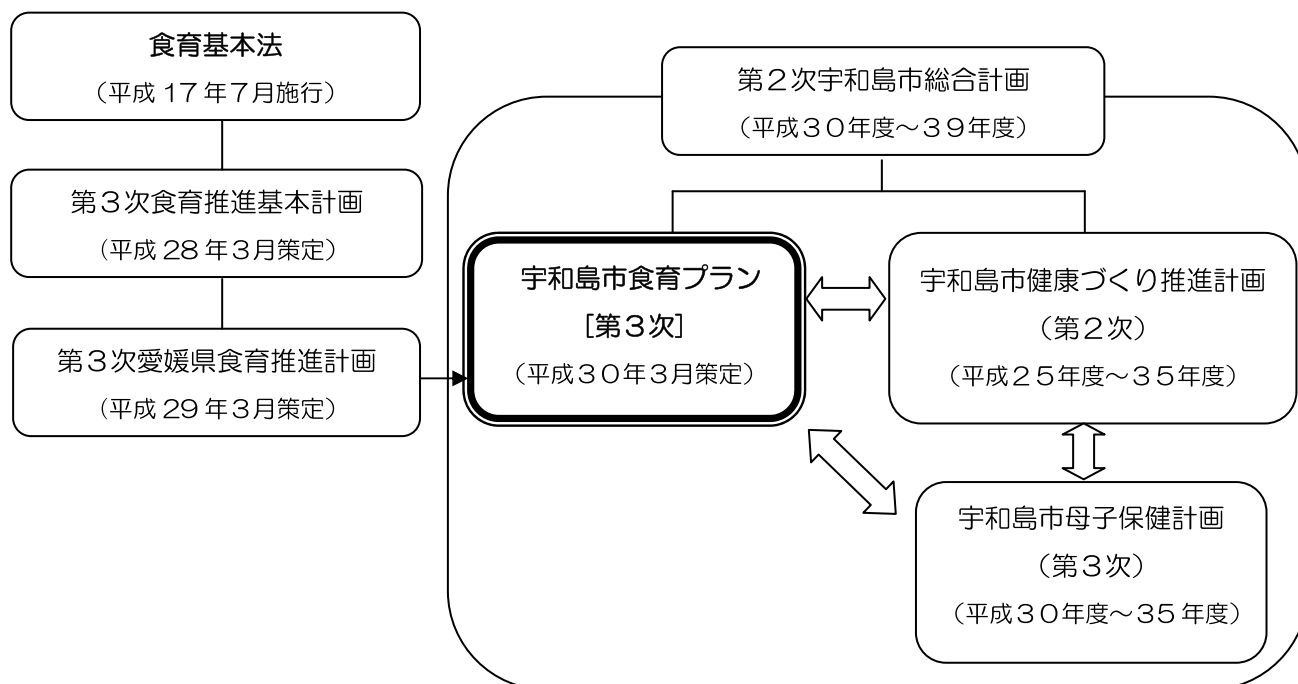
2 計画の位置付け

○この計画は、食育基本法第 18 条第 1 項の規定に基づき、本市食育推進計画として作成しました。

○第 3 次計画は、第 2 次計画推進の成果と課題を踏まえ、今後の食育推進の方向性と平成 35 年度における達成目標を定め、関係施策を総合的、計画的に推進するための基本指針とします。

○家庭、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、地域、行政が連携し、協働のもとに食育に取り組んでいくための行動計画とします。

○宇和島市総合計画をはじめ、宇和島市健康づくり推進計画、宇和島市母子保健計画等、関連計画との整合性を図りながら推進するものとします。



3 計画の基本方針

私たちが生涯を通して心身ともに健康であるためには、子どもの頃から健全な食生活を営むことが基本であり、継続的な『食育』が必要と考えます。そのため、本プランの基本理念を次の通り定めます。

【基本理念】

食を大切にし、健康で心豊かに生きる力を育む

上記の理念を実現するために、3つの目的を掲げます。

① 健康を意識した食生活を送る （健康増進）

望ましい食事のとり方や食品の選び方を学び実践し、規則正しい生活リズムを身に付け、健康な心身を培う力を育てます。

② 生きる力となる食を大切にする心を持つ （人間形成）

家族で楽しく食卓を囲むことや、調理をする等の体験により、食への関心を持ち、食べ物を無駄にせず、食への感謝の心を育てます。

③ 食文化を大切に継承する （地域活性化）

宇和島の豊かな農水産物の利用促進を図り、活用することにより、行事食や郷土の料理を伝承し、身に付けることができるようにします。

『宇和島市食育プラン〔第3次〕』は、2次計画と同様に家庭、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、地域、行政等が連携して推進します。

4 計画の期間

この計画は平成30年度を初年度とし、他の計画との整合性を図りながら、平成35年度を目標年度とする6年間の計画です。各年度毎に取組状況などを評価し、事業の見直しを行いながら、計画を推進していきます。

平成30年度



平成35年度

第2章 2次計画の指標の評価

1 連携した食育の取組

2次計画では、食育推進のため、それぞれの役割に応じた推進体制のもと、効率的に食育が推進されるよう相互に連携しながら取組を行いました。

	農林課	水産課	商工観光課	福祉課	保育所 認定こども園	幼稚園	保険健康課	学校	生涯学習課
(関係団体) 農林課	●えひめ食農教育推進事業 ●食文化普及推進事業 ●援農体験事業 ●園芸産地再編推進事業（ブラッドオレンジフェア）			●地場産物を利用した食育（みかんジュース作り等）					
(関係団体) 水産課		●地元食材のPR ●さかな屋大将のお魚さばき方教室 ●活き生きおさかな料理教室 ●おさかなまるごと教室		●おさかなぴちぴちパーティ				●宇和島市学校給食地産地消費推進事業	
観光課 商工		●宇和島旬のさかな冊子作成							
福祉課				●地場産物食育推進事業（みかん・お米・タイ等の出前講座） ●食育かるた配布 ●食の循環や環境を意識した食育活動					
(生涯学習課) （公民館）							●家庭教育支援事業	●公民館学級・各種講座 ●男性料理教室	
保険健康課 (食生活改善推進協議会)				●うわじま歩ポ&食育フェア			●小児生活習慣病予防事業 ●ひとり暮らしサポート講座		
				●健康づくり出前講座					
				●親子料理教室			●郷土料理講習会		
				●ヘルシーメニューコンテストの開催					
食育連絡会	●「朝食メニュー」の開発と普及 ●元気うわじまサポートバンクの運用促進 ●栄養成分表示店の開拓 ●ヘルシーメニューコンテストの共催 ●食育の周知活動・パネル展、イベント、広報、ホームページ等 ●食育連絡会定例会議								

★2次計画の連携した取組★

●「朝食メニュー」の開発と普及

「みんなで楽しく食べよう！朝ごはんアンケート」の実施
 ・保育所、幼稚園年長児の保護者、小学4年生・中学1年生及びその保護者を対象にアンケートを実施しました。

パネル展の開催

・市役所・支所の他、イベント、商業施設等でパネル展を開催し、簡単朝食レシピを配布しました。

ケーブルテレビを利用した放送

・朝食の摂取啓発及び、「簡単レシピ～みそ玉～」の紹介を行いました。



●元気うわじまサポートバンクの運用促進

登録者の発掘及び運用

登録者数 個人 15人
 団体 18団体
 (H29年度)

●食育の周知活動

食育の周知のため、市役所・支所の他、イベント、商業施設、銀行等でパネル展を開催しました。



●栄養成分表示店の開拓

保健所との協力体制のもと、栄養成分表示店の登録状況の確認及び勧奨や、広報への掲載を行いました。

《登録店舗数》 5店舗 (H29年度)

●食育連絡会の開催

関係機関が連携して食育を推進するための、連絡会を開催しました。

●ヘルシーメニューコンテストの開催

ヘルシーメニューコンテストの開催

H26 「うわじまん野菜料理コンテスト」
 H28 「うまいけん！らくちんお魚料理コンテスト」

レシピの周知及び啓発

- ・入賞・入選作品のレシピをホームページに掲載しました。
- ・ふるさとの味研究会（宇和島市食生活改善推進協議会主催）において、試食会及び表彰式を開催しました。



2 2次計画評価指標の達成状況

2次計画を評価したところ、以下のように2次計画で設定した評価指標について、それぞれの分野からの啓発で良好な傾向に進んだ項目もありましたが、「朝食の欠食増加」や「地場産物の利用の減少」など今後も継続して取り組まなければならない項目もありました。

2次計画評価指標基準値との比較（改善傾向  悪化傾向 ）

評価指標		基準値	目標値 29年度	直近値 29年度	達成状況
1.朝食を欠食する人の割合 ※朝食を毎日食べる人以外の割合	幼児	10.8%	減少	5.0%	幼児は改善したが、その他の年代については悪化
	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	16.2%		20.0%	
	小学生	11.7%		15.3%	
	中学生	19.2%		20.4%	
	高校生	15.9%		24.2%	
	成人	13.6%		17.6%	
2.野菜の1日摂取量 ※小学生：野菜をたくさん食べる人の割合 中学生・高校生：毎食食べる人の割合 成人：1日5皿以上食べる人の割合 〔※350g以上摂取を5皿以上で評価〕	小学生	67.8%	増加	69.0%	各年代全て改善 しかし、「1日5皿以上食べる」成人の割合は1割にも満たない状況
	中学生	24.3%		46.4%	
	高校生	25.2%		39.0%	
	成人	2.1%		3.8%	
3.バランスのとれた朝食をとっている人の割合（主食＋主菜＋副菜） ※毎日バランスのとれた朝食をとっている人の割合	中学生	21.0%	増加	24.4%	中高生は改善、成人は悪化 しかし、各年代全て3割に満たない状況
	高校生	17.4%	増加	21.0%	
	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	33.1%	増加	13.5%	
	成人	42.0%	増加	29.1%	
4.おやつ時間を決めて与えている人の割合	1歳6か月児健診	54.4%	増加	67.7%	改善
	3歳児健診	49.7%	増加	72.5%	
5.よくかんで食べている人の割合	幼児	82.4%	増加	84.3%	小学生は悪化したが、幼児・中学生は改善
	小学生	79.8%		76.2%	
	中学生	78.7%		78.8%	
	成人	—		54.4%	
6.健康増進のための取組（運動や食生活の改善など）をしている人の割合	成人	67.7%	増加	54.9%	悪化
7.食品を購入する時に食品表示（栄養成分表・アレルギー表示）を見る人の割合 ※見る、時々見る人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	79.9%	増加	71.9%	成人は大きく改善したが、幼児を持つ保護者は悪化
	成人	38.5%		63.7%	

評価指標		基準値	目標値 29年度	直近値 29年度		達成状況
8.食育に関心を持つ人の割合 ※関心がある、どちらかといえば関心がある人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	91.2%	増加	92.1%	↗	成人は悪化
	成人	86.7%		75.8%	↘	
9.食事づくりに興味がある人の割合 ※十分ある、少しある人の割合	8か月児健康相談	93.1%	増加	94.2%	↗	3歳児保護者のみ悪化
	1歳6か月児健診	86.0%	増加	86.9%	↗	
	3歳児健診	89.8%	増加	87.9%	↘	
10.家族と一緒に食べる「共食」の割合 ※大人の誰かと一緒に食事をする人の割合	幼児	朝食 63.6%	増加	69.6%	↗	各年代全て改善
	幼児	夕食 —		92.2%	—	
	小学生	朝食 46.8%		72.5%	↗	
	小学生	夕食 83.1%		92.6%	↗	
	中学生	朝食 40.2%		59.4%	↗	
	中学生	夕食 78.2%		86.7%	↗	
11.主食に米飯を食べる割合 ※1日2～3回米飯を食べる人の割合	小学生	—	増加	86.5%	—	高校生・成人は悪化
	中学生	88.4%		91.2%	↗	
	高校生	93.9%		89.3%	↘	
	成人	81.6%		80.8%	↘	
12.柑橘類等の果物の摂取量 ※1日に1～2個食べる人の割合	小学生	68.8%	増加	64.2%	↘	各年代全て悪化 特に幼児を持つ保護者は大きく悪化
	中学生	60.6%		38.5%	↘	
	高校生	55.1%		30.0%	↘	
	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	40.9%		11.0%	↘	
13.魚を夕食に利用する頻度 ※1週間に3回以上魚料理を取り入れる割合	中学生	39.9%	増加	43.4%	↗	中学生は改善 高校生、幼児を持つ保護者は悪化
	高校生	38.1%		34.0%	↘	
	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	38.8%		28.0%	↘	
14.給食における地場産物活用	小・中学校	36.2%	増加	39.0% (H28年度)	↗	増加
15.郷土料理を家庭に取り入れる人の割合 ※成人については郷土料理の認知度	幼児を持つ保護者 (20～40歳)	21.4%	増加	15.8%	↘	悪化 幼児を持つ保護者においては2割以下
	成人	88.2%		87.9%	↘	
16.幼児期・学童期の食育指導回数	保育所	今後調査	増加	—	—	※食育指導の基準を今後検討
	幼稚園	今後調査		—	—	
	小・中学校	28回		—	—	
17.食育ボランティアの人数	食生活改善推進員	304人	増加	245人 (H28年度)	↘	減少
	元気うわじま サポートバンク会員	個人 15人 団体 14団体		個人 15人 団体 18団体	↗	増加

※直近値の把握方法については、P35参考資料一覧参照